

感謝!!南っこ祭り&KMN祭り

11月9日、秋の収穫祭であるふれあい南っ子まつりを行いました。保護者とともに餅つきを行い、つきたての餅を皆で味わいました。続いて地域振興協議会が主催するKMN豊作秋祭りのオープニングで、児童の学習発表も行い、多くの地域の方が見守る中、堂々とした発表で大きな拍手をいただくことができました。

また販売コーナーでは、もち米にひょうたん、くじ、キーホルダー、オクラの種等バラエティに富んだ販売活動を行い、地域の祭りを盛り上げました。父親部の射的や南中炭の販売、地域の方の餅や豚汁等の販売も行われ、臼杵南小学校が地域のにぎわいの拠点となる一日となりました。

天候が心配な一日となりましたが、準備から本番までご協力いただいた保護者・関係者の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



南っこの風景

人権擁護委員による人権授業

1年生 研究授業



OBS「私の母校にお邪魔します」ラジオインタビュー。
11月21日、28日に紹介されます!!



頑張っています!南っ子

【臼杵っ子検定】

上級合格 6年 荻野栞那

【JAお米の絵コンクール】

入選 5年 首藤李樹

【読書感想画コンクール】

県入選 3年 藤原日葵 6年 大津凜恋

3年 川上瑠華 6年 浦邊一花

12月の行事予定

トリムコースを使用しての持久走大会は行いません。
白柵南小グラウンドで10:05～行います。

- 5日（金）ペースランニング記録会・2学期末南友会 ● 24日（水）終業式
● 25日（木）～1月7日（水）冬季休業 ● 8日（木）3学期始業式

確かにリアルな人間との対話や交流は、自分の思い通りにはならないし、傷つくことも多いでしょう。しかし、たとえ思い通りにならなくても対話をしたり感情を共有したりすることで、心の底から共感したり慰めあったりでき、新しいアイディアやひらめきが生まれ感動が生まれるのではないでしようか。

白杵南小で行っている田んぼ活動や南っこ祭りなど人と人とのリアルに触れ合うことこそ豊かな人間性を育みます【AI】が処理できない、人間らしい感性や協働的な学びを大切に、今後とも【AI】を「道具」として使いながら体験重視の教育を進めていきたいと思っています。リアルな活動を大切にしていきましよう。

先日、テレビを見ていたら、悩みや困りごとを人に相談せず、対話型の生成人工知能「対話型AⅠ」にしている若者が増えていると言っているを見た。「対話型AⅠ」に相談する理由として、人に話にくい内容でも気軽に聞けることや人間関係のわずらわしさがないこと、自分好みの期待する回答をくれることが挙げられるそうである。

小学校でも一人一台タブレットが学習には当たり前の時代となり、学習のパートナーとしての活用が進んでいます。わからないことがあれば、すぐに調べることができなくてはいらないものとなっていますが、果たして「対話型AⅠ」は友だちとなりうるのでしょうか。

友だちはAI？